マレーネ・ディートリッヒ

Marlene Dietrich

生年月日 1901/12/27
出身地 ドイツ／ベルリン
没年 1992/05/06
関連人物 Ｊ・デヴィッド・ライヴァ（孫）

【バイオグラフィ】

■本名はMaria Magdalena Dietrich。幼い頃からヴァイオリンを習っていたが手首をケガし、それからは女優を夢見るように。演劇学校に入学直後から舞台に立つようになり、２３年には映画デビュー。３０年の「嘆きの天使」演出のため、ベルリンにやってきたジョセフ・フォン・スタンバーグ監督が彼女の立つ舞台を見たことからローラ役に抜擢。退廃的な魅力と抜群な脚線美と共に“フォーリング・イン・ラヴ・アゲイン”もヒットして世界的に有名になる。その後アメリカに渡りパラマウントと正式契約。以降、スタンバーグの元でその実力を開花させて行く。が、３７年の「鎧なき騎士」出演後に母国からヒトラーの使者が現れ、ドイツ映画に復帰するよう説得されるがディートリッヒはこれを完全拒否。そのためドイツでは当時彼女の作品を焼却処分にしてしまったという。その後３９年にアメリカ市民権を取得。第二次大戦勃発後は前線慰問や反ナチ運動に積極的に参加して４７年にはアメリカ国民最大の栄誉である“自由勲章”を与えられた。終戦後は「狂恋」でジャン・ギャバンと共演（実は恋愛関係にあったと後に発表）。５３年からは名曲“リリー・マルレーン”などの歌で世界各地をリサイタルして廻り新境地を開いた（日本にも７０年の大阪万博と７４年に来日）。結婚は２４年に映画製作の助手、ルドルフ・シーバーと１度きりだったが殆ど別居状態のまま、彼の死まで離婚はしなかった。一女がいて４８年には孫が誕生。“世界一グラマーなおばあちゃん”と揶揄されたことも。７８年「ジャスト・ア・ジゴロ」が映画出演最後となって（「ＭＡＲＬＥＮＥ／マレーネ」はナレーションのみ）９２年、パリで老衰のためこの世を去った。

【フィルモグラフィ】

真実のマレーネ・ディートリッヒ（2001）	出演
ＭＡＲＬＥＮＥ／マレーネ（1984）	出演
ジャスト・ア・ジゴロ（1978）	出演
妖艶美女大全集／銀幕の女神たち（1965）	出演
パリで一緒に（1963）	出演
ニュールンベルグ裁判（1961）	出演 :バートルト夫人
黒い罠（1958）	出演 :ターニャ
情婦（1957）	出演 :クリスティーネ
モンテカルロ物語（1957）	出演 :マリア
８０日間世界一周（1956）	出演
無頼の谷（1952）	出演 :アルター・キーン
舞台恐怖症（1950）	出演
異国の出来事（1948）	出演
黄金の耳飾り（1947）	出演
狂恋（1946）	出演 :ブランシュ・フェラン
キスメット（1944）	出演
男性都市（1942）	出演

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

淑女の求愛（1942）	出演
スポイラース（1942）	出演
大雷雨（1941）	出演 :フェイ・デュヴァル
焔の女（1941）	出演
妖花（1940）	出演
砂塵（1939）	出演 :フレンチー
天使（1937）	出演
鎧なき騎士（1937）	出演
沙漠の花園（1936）	出演
真珠の頸飾（1936）	出演
スペイン狂想曲（1934）	出演
恋のページェント（1934）	出演
恋の凱歌（1933）	出演
ブロンド・ヴィナス（1932）	出演
上海特急（1932）	出演 :上海リリー
間諜Ｘ２７（1931）	出演 :マリー
嘆きの天使（1930）	出演
モロッコ（1930）	出演

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.